

ダミアン・イオリオ、 鮮烈の日本デビュー!

レスピーギの最高傑作、
珠玉の「ローマ三部作」

2018

4/13金

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

午後7時開演 (午後6時開場)

Friday, April 13, 2018 / 7:00PM

Kyoto Concert Hall

©伊藤菜々子

京都市交響楽団

第622回 定期演奏会

The 622nd Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

開演前 (午後6時30分ごろから) は
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上に開催します。

指揮 **ダミアン・イオリオ**

Conductor: Damian IORIO

レスピーギ: 交響詩「ローマの噴水」

レスピーギ: 交響詩「ローマの松」

レスピーギ: 交響詩「ローマの祭」

Respighi: "Fountains of Rome" symphonic poem

Respighi: "Pines of Rome" symphonic poem

Respighi: "Roman Festivals" symphonic poem

入場料 **S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000** (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券 & 後半券 **S ¥2,000 A ¥1,500 B ¥1,000**

※学生券は開演1時間前から (学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了 (後半開始) まで発売 (学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約) をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/2018年4月6日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。
京響 (075-711-3110) までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約)

- 京都コンサートホール... (075) 711-3231 ●ロームシアター京都... (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ... (0570) 02-9999 Pコード349-195
- ローソンチケット... (0570) 000-407 Lコード58090

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>

京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

京都市



協賛: **ローム株式会社**

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

ROHM
SEMICONDUCTOR

京都市交響楽団 第622回定期演奏会

The 622nd Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

2018年度の幕開けは、英国ミルトン・キーンズ・シティ・オーケストラ音楽監督として活躍し、欧米の主要オーケストラで実績を積み重ねる実力派指揮者ダミアン・イオリオが、センセーショナルな日本デビューを飾ります。イタリアの血を受け継ぐイオリオによる、イタリアの作曲家レスピーギの最高傑作「ローマ三部作」で、パンダを含む大編成オーケストラのダイナミックなサウンドを！

指揮

ダミアン・イオリオ

Conductor : Damian IORIO



ロンドン生まれでイタリア在住の指揮者ダミアン・イオリオはイタリア人とイギリス人の両親が共に音楽家であるという恵まれた家庭に育った。英国と米国で学んだ後、音楽家としてのキャリアをヴァイオリニストとしてスタートする。デンマーク国立放送交響楽団に在籍しながら指揮をサント・ペテルブルクで学ぶ。既にロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、グランドボーン・フェスティバル・オペラ、デトロイト交響楽団、サンフランシスコ交響楽団、パリ国立オペラ、オランダ放送フィルハーモニー管弦楽団、サント・ペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、BBC交響楽団、ボン市立劇場、ベルギー国立管弦楽団、ローザンヌ室内管弦楽団といった主要オーケストラやオペラ劇場で指揮してきている。最近ではロンドン・フィル、ラハティ交響楽団、ベルギー国立管弦楽団で再度登壇したほか、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団やBBCウェールズ交響楽団（「全くのところで、これまでに会った中でこの曲の最高の演奏」ポール・コーフィールド・ゴドフリー、Music Web Internationalのレビュー・サイト 'Seen and Heard International' 2016年4月28日）でデビューを果たしている。更にフィルハーモニア管弦楽団とのデビュー公演を2016年10月にロンドンのロイヤル・フェスティバル・ホールで行った。オペラでの活躍を見ると、グランドボーン音楽祭でヴェルディの《マクベス》を、パリ国立オペラでスメタナの《売られた花嫁》を指揮しており、2018年に再びパリで《ボリス・ゴドノフ》を振る予定。近年華々しいデビューを果たしたモスクワのヘリコン・オペラ（《カルメン》）や、スウェーデンのノールランド・オペラ（《エフゲニー・オネーギン》）とも既に緊密な関係を築いている。アメリカ・デビューとなったセントラル・シティ・オペラ（コロラド州）におけるブリテンの《ルクレティアの凌辱》は内外のメディアによって絶賛された。またボン市立劇場にプッチーニの《トゥーランドット》で登壇したほか、ノルウェー国立オペラや、トリノのテアトロ・レージョなどイタリアの多くのオペラハウスでも度々指揮している。サント・ペテルブルクではブリテンの《ねじの回転》を、そしてモスクワではマイケル・ナイマンの《妻を帽子と間違えた男》のロシア初演を指揮し、《妻を…》は2004年のゴールドデン・マスク・フェスティバル（ロシア）においてベスト・オペラ・プロダクションにノミネートされた。近年ナクソスからリリースされた、ゲディーニとカゼッラの録音は英ガーディアン紙から高く評価され（「ダミアン・イオリオの手堅い指揮による、洗練され生気溢れるパフォーマンス」）、音楽専門誌「ル・モンド・ドゥ・ラ・ムジーク」の権威あるショク賞を受賞している。新しい音楽の創造にも意欲的で、タン・ダンやヒュー・ワトキンス、シルヴィア・コラサンティ、マイケル・ナイマンといった作曲家たちとの緊密なコラボレーションにより新作の初演を幾度も手掛けている。過去にはムルマンスク・フィルハーモニー管弦楽団の芸術監督兼首席指揮者も経験しており、同楽団がオペラ、コンサート両面で成功と発展を遂げたのはイオリオの貢献によるところが大きい。若い演奏家との活動にも熱心で、現在は英国のナショナル・ユース・ストリング・オーケストラの音楽監督を務めている。2014年6月にはミルトン・キーンズ・シティ・オーケストラの音楽監督に就任、同オーケストラは地域のカルチャー・ライフの中核を担う存在として高い評価を得ている。尚、2006年にサンマリノ共和国より、同国の音楽に尽くしたとしてサンタアガタ騎士勲章を授与された。



©伊藤菜々子

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「オペラ・オーケストラ部門賞」及び広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月には広上淳一の指揮のもと18年ぶりのヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を記念して国内ツアー 6公演と京都市内各所で「ふらっとコンサート」全10回を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年1月「第37回（2016年度）音楽クリティック・クラブ賞」本賞、下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2018 2/16(金)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2018 3/17(土)から発売!

第623回定期演奏会

広上淳一で聴く生誕100年バーンスタイン!
本格派ピアニスト河村尚子が挑む「不安の時代」

日時: 2018年5月19日(土) 午後2時30分開演
2018年5月20日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 広上 淳一 (常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー)

独奏: 河村 尚子 (ピアノ)

曲目: バーンスタイン: 交響組曲「波止場」
ショスタコーヴィチ: 交響曲第9番変ホ長調op.70
バーンスタイン: 交響曲第2番「不安の時代」

第624回定期演奏会

才気あふれるアジアの俊英リオ・クオクマン登場!
チェコの息吹が香るシュパチェクのドヴォルザーク

日時: 2018年6月15日(金) 午後7時開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: リオ・クオクマン

独奏: ヨゼフ・シュパチェク (ヴァイオリン)

曲目: ジェニファー・ヒグドン: ブルー・カセドラル (日本初演)
ドヴォルザーク: ヴァイオリン協奏曲イ短調op.53
チャイコフスキー: 交響曲第6番ロ短調「悲愴」op.74



©K.Miura



©Hirofumi Isaka



©Radovan Subin

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)